

第5回 仙台I ソンタクラブ 東北大学大学院
女子学生のための国際学会発表支援事業 報告書

令和5年 3月 3日 記入

所属部局名：農学研究科
学 年：修士2年
氏 名：LIN HUILING

1. 参加国際学会等の名称
2023 International Seaweed Symposium
2. 開催期間
2023年2月19日 ~ 2023年2月24日
3. 発表演題
Effects of slow-release fertilizer and blue light on the Undaria pinnatifid's growth in the cultivated field
(和訳) 養殖ワカメの成長に及ぼす緩効性肥料と青色光の影響について
4. 参加した国際学会等の状況並びに感想
国際学会へ参加し、世界中の研究者と議論するのは今回が初めての経験でしたが、多くのインスピレーションを得ることができました。
学会は現地とオンラインの併用で行われました。現地ではアメリカやヨーロッパ、アジアからの参加者もいましたが、オーストラリアの研究者が多かったです。今回の学会を通じて、世界中の海藻に関する最新の研究を聞き、新しい技術や知識をたくさん吸収することができました。海藻養殖について世界中で似た問題が生じていますが、その問題解決に向けた取り組みは世界中で様々だったことが興味深かったです。私は養殖現場のワカメの成長向上に関する発表をしましたが、海外では、温度や光を自動的に調節するシステムを導入し、室内で海藻を大規模に養殖できる研究が紹介されていました。このような異なる視点は、今後の研究計画を立てる上でとても刺激になりました。
5. 本事業に対する要望等
この学会に参加する機会を与えていただいたことに感謝しています。学会に参加することで、学術研究についてより深く学ぶことができただけでなく、私の見識を広げ、大きく成長できました。要望としては、今回、渡航費が高額になり、学会の奨学金も併用することで参加することがで

きました。可能でしたら助成金額を上げてもらいたいです。

※ この報告書は、本事業の出資団体である「仙台 I ソンタクラブ」への事業成果報告として提出します。

※ この報告書は、本学男女共同参画委員会ホームページに掲載します。